

## 調査に対する回答（亀岡市）

質問項目	回	答
<p><b>【用地確保】</b>                      ・候補地の決定（今夏を目途）までに用地確保の見通しを確実に立てることはできるのか。                      また、借地契約による用地確保を前提としているが、借地期間、権利設定などどのように考えているのか。</p>	1	<p>7月26日に地権者に説明会を実施しました。                      具体的な条件提示はしていませんが、誘致の決定後それに伴う年次計画に基づき、用地協力いただくよう求めました。                      出席者総体としては、この事業が誘致されることを歓迎されており、誘致促進と必要な用地協力について異論はなく、引き続きすべての地権者への説明、同意が得られるよう進めます。                      借地期間、権利設定についても具体的に詰まりきっていませんが、地権者の考え方等によっては用地買収への方向転換も視野に検討してまいる考えです。</p>
<p><b>【治水】</b>                      ・候補地は、桂川の洪水時において遊水地となる土地である。球技場の建設により、遊水面積が減少すると、沿川の他の地域で浸水が拡大するなど現状の治水安全度を低下させることになるが、市としてどのように考えているのか。</p>	2	<p>候補地一帯は、洪水時における状況から、JR亀岡駅に隣接しているにもかかわらず、今日まで都市的な土地利用が抑制されてきた地域であります。                      近年、上流に日吉ダムができ、桂川の改修も京都府により積極的に進めていただいているところで、隣接する亀岡駅北地区では土地区画整理事業が実施されるまでに至りました。                      本候補地を選定いただいた際には、本市としてもできる治水対策について、積極的に対応してまいります。</p>
<p><b>【環境】</b>                      ・提案されているアユモドキの共生ゾーン（約3.6ha）による生息地の保全について、どのように考えているのか。また地元環境保護団体の理解・協力は得られているのか。</p>	3	<p>アユモドキの保全にご尽力いただいている大学の先生や、環境保護団体と十分相談を行い、その指導を仰ぎ保護・保全に努めます。                      なお、地元環境保護団体等の理解は得ています。</p>
<p><b>【大量輸送、アクセス】</b>                      ・JR亀岡駅からのアクセスとして、球技場候補地まで直結の高架橋を構想されているが、実現の見込みはどうか。</p>	4	<p>現在、亀岡駅北口から一級河川曾我谷川手前で右に直角に曲がっている市道を真っ直ぐ延伸し、曾我谷川を跨ぎスタジアムへ接続する計画で、すでに実施に向けた調査設計に着手しています。この道路はスタジアムから先はアクセス道路として市道保津宇津根並河線（桂川右岸道路）を拡幅し、宇津根橋畔で府道郷ノ口余部線と接続する道路計画をしています。                      本市としては、この道路を基本的に亀岡駅北口からスタジアムまでの入場者誘導道路として考えているところです。                      直結の高架橋の設置については、亀岡駅北地区土地区画整理事業との整合の中で検討することとなりますが、高架橋による誘導導線まで整備をしなくとも観客誘導は十分行えるものと考えています。</p>